

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)厚木市長沼物流センター新築計画	階数	地上3F
建設地	平塚市大神字上枝85番6及び厚木市長沼字北耕地235番5	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火指定なし、法22条区域、区画整理区域	平均居住人員	20人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2024年3月25日
敷地面積	7,449 m ²	作成者	榎創和加藤設計
建築面積	3,963 m ²	確認日	2024年3月25日
延床面積	8,224 m ²	確認者	榎創和加藤設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 倉庫内の事務所エリアは、一般的な仕様の内装及び設備機器を採用した。建物を南側に寄せ前面に空間を広く確保することで、周辺への日影に配慮した。		その他 開発区域面積の緑地を約19%確保し、外周緑地の他、まとまった緑地エリアも設けることで、周辺環境と調和が図れるように配慮した。
Q1 室内環境 F☆☆☆建材を採用することで、室内環境に配慮した。	Q2 サービス性能 居室の天井高さは2.5mとし、開口部(窓)を設けることで開放感を感じられるように配慮した。倉庫部分は階高及び床荷重にゆとりを持たせ将来用途の変更および空間の形状変更しやすよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー 断熱性の高い外壁材を仕様することで熱負荷抑制に配慮し、建物ないのLED照明設備を採用することで、消費エネルギーの削減に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 内部壁仕上: LGS+PBを採用。	LR3 敷地外環境 LCCO ₂ 排出率80%。屋外広告物照明無しとした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される